

なからぎ

236号

2022年1月

本を書くこと

学長 塚本 康 浩

大手出版社から「単行本を出しませんか」というお誘いをいただき、過去に4冊ほど書かせていただきました。“自分の研究に関することなら”と軽くお引き受けしたものの、書き始める前に、初版の部数や出版日、そして宣伝広告の媒体や印税や締切日まで設定されてしまいます。三ヶ月後の締切なら余裕だと思のですが、結局は間に合わずに「すみません、時間ください」ということになります。僕の場合は、自分の実体験を描くノンフィクションであり、過去を振り返りつつ未来を語る人が多いのです。PCの前に座って「文章の神様」が来てくれたら、スラスラ書けるのですが、結局のところ神様は現れず、締切間近になって、仕方なく通勤時の車の中でスマートフォンに向かって音声入力で済ますことになります。最近のアプリは、いとも簡単に音声で文字化してくれるので非常に便利です。出版社の編集を終え、あとがきを書いて、タイトルや表紙が決まり、ゲラのチェック、帯を誰に書いてもらうかなど慌ただしく動きます。10万部刷れば約1億3000万円のビジネスになり、少しは出版社のお役に立てるのです。そのためにも宣伝と広告は必要です。〇〇月〇日の〇〇新聞の朝刊に載せるとかという感じです。出版社から著名人に献本していただき、面白ければ書評を書いてくれます。僕の方も知り合いや関連企業さんにそれなりの冊数をサイン入りで送ります。なんとと言っても企業さんの購入数は半端ではなく本当にありがたいものです。Kindleなど電子書籍化されるとAmazonなどでの販売数も急激に伸びますし、印税も10%から15%にアップします。こんな感じで「売らなければならない本」は著者にとっては結構辛く、自分の手を離れた後は“売るプロ”にお任せになります。自分で書いた本が大手古本屋やネットで安く安値で売られていると複雑な気持ちになりますし、学内の廃品回収の書籍の束の中に見つかりすると悲しくなります。作り手はみなさん同じような感じでしょう。でも読んでくれたのだからOKなのです。学長になって、いろんなところから文章をお願いされることが多くなりました。でも、読んでもらえない文を書くのは辛いものです。図書館報「なからぎ」をどれだけの人が読むのか？それは、図書館側の宣伝力にかかっています。まずは認知度アップですので、私と子ども最大限の努力をいたしましょう。



何のために読むのか

公共政策学部 瀧本 知加

「来るべき時が来てしまった・・・」

図書館報への原稿執筆のお願いたる文書を受け取り、頭を抱えました。そう、私は本があまり得意ではありません。そんな私が、図書館報に原稿を？何かの間違いではないですか？と思いましたが、業務のひとつということで、諦めるよりほかないようです。

個人的なことで恐縮ですが、私は染物屋の父とピアノ講師の母のもとで、楽譜や楽器、着物、工場や染料に囲まれて育ちました。活字よりも音やリズム、絹の触感や色に囲まれた子ども時代でした。というと、なんだか芸術家のようなのですが、両親ともに食っていくための仕事として、求められるものを追求する泥臭い「職人」の仕事をしていました。そんな私にとって、本は縁遠く、「本を読む人たちの世界」があって、本を読まない私の中身は空っぽだ、そんなことを感じていました。

高校ではギターとバンドにのめり込んだこともあって、本とは縁遠い青年期を過ごしていました。本の世界が自分の世界と重なったのは、そんな頃でした。当時、私が通っていた京都の公立高校は、いわゆる進路多様校で、卒業生の半数以上が就職する高校でした。学校の授業は、受験に特化するわけではなく、先生の個性・関心に基づいて多様でした。

お名前は忘れてしまいましたが、国語の先生で、癌を患っていらっしゃる先生がいらっしゃいました。ヘヴィースモーカーで人生を達観されているような、厭世的な雰囲気のある先生でした。彼女の授業は、宮沢賢治の詩や、森鷗外の『舞姫』を原文から書き下して、朗読し、解説するというものでした。先生が朗々と原文を読み、淡々と解説される授業は、アクティブラーニングどころか、授業自体が

とてつもなく「暗い」のです。「恋愛・化粧・ルーズソックス・PHS (ポケベルの後に流行した簡易携帯電話：通称ピッチ)」に浮かれている高校生たちの前に投下されるとてつもない「暗さ」！！衝撃的でした。彼女は各作品を黒でも白でもない「グレー」な部分に焦点を当てて解釈されていました。恋愛にも受験にも振り切れない、女性特有の中途半端さに抑圧を感じていた青年瀧本は、その「グレーな暗さ」に惹かれ、なんだか自分の苦しみ肯定されているような、そんな気持ちになりました。その後、トルストイやドストエフスキーなど、「暗い」ロシア文学が好きになるわけですが、この「暗さ」との出会いは私の人格形成にとって、非常に重要であったように思われます。

もうお一方、こちらは名前を覚えています。城戸先生という国語の先生でした。彼女の口癖は「マドンナ古文なんてたいしたことないのよ！」でした。当時、一世を風靡していた予備校講師を指していたようですが、私自身は受験勉強の真似事しかしていなかったのでよく存じ上げません。その先生の授業は、古典授業の王道を行きながらも、挟まれる逸話、八つ当たりとも思われるほうほうへの批判など、先生の「統制できない思い」が溢れ出す、不思議なものでした。ある時には、日曜日の朝早く起きて屋根にお布団を干すのはなんと気持ちのいいことか、を「恋愛・化粧・ルーズソックス・PHS」の高校生たちに解くのです。そんなんわかるわけないやん、と私は思うわけです。またある時には、源氏物語の田辺聖子訳がいかにか素晴らしいか、さらには、田辺聖子の作家としての歩みと苦悩を、「恋愛・化粧・ルーズソックス・PHS」の高校生

らに熱弁するのです。同級生たちのポカンとした表情に、複雑な思いを抱きつつ、なんだか先生がかわいそうだから読んでみるか、と田辺聖子訳の源氏物語を読むわけです。と、めっちゃ面白いじゃないですか、城戸先生！田辺聖子がすごいのか、紫式部がすごいのかは私にはわかりません。ただただ、溢れ出す感情が恥ずかしげもなく美しく書かれた文章に、文字通り「感動」し、古典は時代を超えた「人間らしさ」を伝えてくれるものだと理解しました。

それ以降、城戸先生との不思議な関係が続きました。城戸先生は授業の中で、いろいろな課題を出され、私も先生のスタイルに則って、自分の中から出てくる「統制できない思い」を出すわけです。詩の授業では、好きな詩をなんでもいいから書いてこいと言われ、椎名林檎の「モルヒネ」という曲の歌詞がいかに素晴らしいか、またそのメロディや、ギターのコード進行、リズムがいかに工夫され素晴らしいか心に風景を想起させるか、というレポートを出しました。先生はそれを授業で紹介し、褒めてくださいました。私は恥ずかしながらも、自分の中から出てくる「統制できない思い」は、外に出していいのだ、国語とはそういう教科だと勝手に思い込みました。調子に乗った私は、大の苦手の読書感想文で、無謀にも王道の『アンネの日記』に挑戦しました。アンネはホロコーストの被害者でありながらも「ナチスを許した責任は私にもある」という一文を残しています。その当時の私は、受験の被害者ぶって、「恋愛・化粧・ルーズソックス・PHS」の同級生を見下すことでなんとか自分を保っていました。アンネの一文は、そんな自分の愚かしさを、鮮明に自覚させました。この自分の愚かさに目を背けたまま大人になるのか、そんな惨めな人生は嫌だ、この苦しい社会を変えるために生きるのだ、というような感想文（決意表明文）を書きました。先生は、涙をうかべながら、皆の前で紹介されていました。泣かずつもりはなかったんですけどね。

ここまで書いたところで、なんとなく、本のことにも触れているし、教育学の教員っぽいし、それらしくなっていることに気づきました。いやあ、よかったです。

その後、私は、学校中の国語教師のスパルタ教育を経て、小論文で京都府立大学、福祉社会学部の推薦入試に合格しました。合格の報告に、先生たちから「瀧本は自分の中に書きたいものがある」と講評していただきました。私は空っぽではなかったのです。幼少期に本に親しむ習慣をつけられなかった私にとって高校の国語の授業がなければ、本の世界に出会うこと、今の自分と出会うことは無かったと思います。大学に合格したことよりも、愚かな自分に向き合う強さを得られたことの方が私にとっては価値があったと思っています。

読書とは他人の思いに共感し、魂を重ね合わせるものだと私は思っています。優れた作品やフレーズに出会った時の感覚は音楽やリズムに魂をふるわされる感覚と似ています。今読んでいる本は、仕事のために読むものが大半で、魂が震えるような読書をしたいと思います。が、今は食っていくために本を読まねばなりません。そう、私は社会科学の研究者！社会を変える研究をするのだ！と青年期の初志を完徹すべく、本を読むのです。そして、いつか誰かの魂を震わせ、人生を変えるようなフレーズを書きたいと思っています。



『アンネの日記』増補新訂版
 (文春文庫, [フ-1-4])
 アンネ・フランク著;
 深町眞理子訳
 文藝春秋2003年
 (請求記号 949.35 || F)

学外からの便利な図書館活用術 ～マイライブラリを使ってみよう～

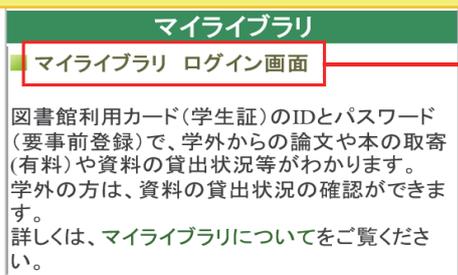
マイライブラリとは、図書館の情報に関する個人のページです。学外からでも、図書館からのお知らせや貸出状況の確認・貸出延長など、来館しなくても受けられるサービスがあります。利用前にカウンターでパスワードの事前登録が必要ですが、施設予約システムのパスワードも兼ねていますので、学外からグループ研究室や研究個室の予約もできるため（※学内者限定）大変便利です。この機会にぜひご利用ください。

ログイン方法 ※方法は三通りあります。利用後は必ずログアウトしてください。

方法① 図書館 HP バナー



方法② 図書館 HP 下部のログイン画面



図書館利用カード(学生証)のIDとパスワード(要事前登録)で、学外からの論文や本の取寄(有料)や資料の貸出状況等がわかります。学外の方は、資料の貸出状況の確認ができません。詳しくは、マイライブラリについてをご覧ください。

方法③ 蔵書検索の詳細検索画面



ログイン名
パスワード
ログイン

ログイン名・・・学生は学生証番号 ※学生証を再発行した方は図書館再発行番号
 教職員は図書館利用カード番号
 パスワード・・・図書館 Web サービス申請書に記入したものを
 カウンターで事前登録が必要で、登録の翌平日以降にログインが可能です

check

マイライブラリのできること

- (1) お知らせ**
 図書館からの連絡事項や延滞、資料の到着等をお知らせします。
- (2) 新着資料の情報を受け取る**
 あらかじめ登録した条件にあてはまる新着情報や、登録した雑誌の新着巻号の情報をお知らせします。
- (3) 貸出状況を確認する・貸出延長**
 貸出中の資料の件数と貸出情報が確認できます。予約が入っていない場合は、借用中の資料の詳細から貸出期間の延長が1回だけできます（※学内者限定、延長を制限している場合があります）。
- (4) 入手待ちの資料の状況確認（※学内者限定）**
 資料の予約や取り寄せ依頼等、図書館に依頼した資料の状況が確認できます。
- (5) 他大学図書館等へ複写物や資料の取り寄せ申込み（※学内者限定）**
 府大図書館に所蔵がない場合、他大学図書館等への複写物や資料の取り寄せ依頼ができます。初めて利用される方は、カウンターにご相談ください。
- (6) ブックマーク一覧**
 図書館の資料を検索すると、その検索結果をブックマークすることができます。ブックマークした資料をマイフォルダに保存し、その情報を参照・整理して利用できます。登録した情報は、次にマイライブラリにログインしたときにも参照が可能です。登録した情報を、ファイルに出力したりメールで送信もできます。

○冬の企画展示 ～冬のオススメ本～

寒さが身にしみる季節になりました。現在、あたたかい温泉やスープの本など、冬ならではの本を集め展示しています。試験勉強中のリフレッシュとしても読んでみてください。

- 展示期間 2022年1月5日(水)～2022年2月28日(月)
- 展示場所 図書館2階 貸出・返却カウンター付近

○図書館利用についてよくある質問Q&A

図書館によくお寄せいただく質問に一部お答えします。ご参考にしてください。

Q 持ち込みパソコンが利用できる座席がなぜ限定されているのですか？

A キーボードのタッチ音が気になる利用者もおられますので、静かな環境で読書や学習・研究ができるよう、持ち込みパソコンの利用を館内のインターネットコーナー付近の座席に限定しご利用いただいています。他の方の迷惑にならないよう、決められた座席でのご利用をお願いします。

NEWS 2021年12月1日(水)からの新型コロナウイルス感染症対策に伴う図書館での利用制限の緩和により、持ち込みパソコンの座席が利用制限前の場所に戻りました。現在は、学内者用のインターネットコーナー横の座席で利用できます。満席の場合はカウンターにお声がけください。

Q 水筒やペットボトル等の蓋付き飲料であれば図書館内で水分補給できますか？

A 館内での飲食を禁止しており、水分補給はできません。図書館の資料は、利用者にとっての共有財産です。蓋付きであっても、もし飲物がこぼれて資料を汚したりすると、シミやカビの原因や濡れた紙を乾かしたためにページが波打ってしまったたり、ひどい場合は使えなくなるなど資料の利用に支障をきたします。歴彩館1階には、自動販売機(飲食・軽食)が設置された飲食可能なスペースがありますので、飲食の際はそちらか館外をお願いします。

Q 府大図書館に探している資料がない場合はどうすればよいですか？

A 他大学図書館等へ複写物や資料の取り寄せを依頼することができます(※学内者限定)。依頼前に下記のツール等で入手できないかを調べて、入手できない場合にカウンターまたはマイライブラリ(パスワード事前登録要)にてお申し込みください。

- ・京都府立大学附属図書館3館合同蔵書検索システム(OPAC)
- ・京都府立大学統合検索(FNS:Fudai Nakaragi Search)
- ・CiNii Articles
- ・CiNii Books
- ・Google Scholar

コロナ禍と図書館 ～令和 3 年を振り返る～

月 日	令和 3 年 (2021 年) の主な出来事	備考
4 月 1 日	閉館時間を平日 17 時から 19 時までに変更	
4 月 5 日 ～ 7 月 31 日	在宅など学外で利用できるコンテンツの臨時追加	・ 4/5 ～ Westlow Japan など ・ 4/22 ～ 聞蔵Ⅱビジュアル
4 月 25 日 ～ 5 月 31 日	新型コロナウイルス感染拡大により京都学・歴彩館が臨時休館となる中、学生及び教職員が引き続き利用できるよう臨時の出入口を設け開館	①文学部入口から入館 ②非常階段で 2 階図書館へ (※臨時の受付設置)
6 月 1 日 ～ 6 月 30 日	京都学・歴彩館が時間短縮 (17 時まで) での再開となる中、学生及び教職員が引き続き 19 時まで利用できるよう、17 時～ 19 時までの間の臨時の出入口使用を継続	
7 月 1 日	6 月 20 日の緊急事態宣言解除を受け、これまで利用制限を行っていた研究個室の利用を再開	・ 多くの利用者様からの要望を受け対応
7 月 22 日 ～ 23 日	来場型のオープンキャンパス開催に伴い、新型コロナウイルスの感染防止に努めながら「図書館見学」を実施	・ 1 日 5 回 (20 名/回) ・ 参加者 177 名
8 月 20 日 ～ 9 月 30 日	新型コロナウイルス感染拡大により再び京都学・歴彩館が臨時休館となる中、前回 (4/25 ～) 同様、臨時に出入口を設け開館 (継続)	
9 月 1 日	Ezproxy (クラウド版プロキシサーバー) 導入により、学外で利用できるコンテンツの提供拡大	・ Nature や新聞 DB など 7 つのコンテンツを追加
12 月 1 日	<p>本学「新型コロナウイルス感染症拡大予防のためのガイドライン」見直し (11 月 15 日改訂) を受け、これまでの利用制限を緩和 (制限解除)</p> <p>【制限解除の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 府民、協定校の学生・教職員の利用再開 ➢ グループ研究室の利用再開 ➢ 映像、視聴覚資料コーナーの利用再開 ➢ PC エリア席の利用再開 など 	

京都学・歴彩館 HP



㊦ 1 年生のための図書館基礎知識：番外編 ～ 京都学・歴彩館

新入生：あの、今更感があるんですけど、ここ「京都学・歴彩館」って言いますよね。何か熱心に調べものをしている方や、セミナーや催し物なんかも頻繁に開催されてますけど、ここって一体何なのかなあ・・・と、前から少し気になっていて。

Ms. 司書：たしかに、同じ建物内にある身近な施設だけど、利用しないと分からないことってあるよね。(図書館報だけど、今回は番外編ということで・・・) ここ歴彩館なんだけど、京都の文化や歴史に関わる資料の収集・保存のほか、それらについての学習・交流の場でもあるんだよ。

新入生：そうなんです。先人の営を想像することもできるし・・・すごく興味があります。

Ms. 司書：そう、そしてこの 2 階にある専門図書閲覧スペースだけじゃなくて、実は地下 1 ～ 2 階の収蔵庫がとても広くて、約 85 万冊 (点) の資料、そのうち国宝が約 1 万 8 千点も所蔵されているから驚きだよ。

新入生：ええっ、そうなんですか!? ちょっとごめんなさい。お向かいに行ってきます。

なからぎ 京都府立大学図書館報 236 号 2022 年 1 月発行 編集発行人：小林啓治
発行所：京都府立大学附属図書館 〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町 TEL: 075 (703) 5128 ～ 5131
FAX 075 (703) 5192 ホームページ <https://www2.kpu.ac.jp/toshokan/toshokan.html>